



発行 協同組合盛岡卸センター
岩手県紫波郡矢巾町流通センター南一丁目2番15号
TEL 019-638-1111(代) FAX 019-638-4532
URL <http://www.morioka-oroshi.jp/>

2026年1月1日



(株式会社津屋本店インターンシップ初日の様子)

年頭のあいさつ

理事長 藤村文昭

明けましておめでとうございます。組合員並びに賛助会員の皆様には、健やかに新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、国内外で様々な大規模災害が発生しました。本県においても二月に大船渡市で発生した山林火災は、延焼面積が約三千三百七十ヘクタールにもおよび平成以降の山林火災では国内最大規模となったほか、十二月には青森県東方沖を震源とするマグニチュード七・五の地震があり、北海道、青森、岩手の三道県で五十人以上のけが人が出るなど、災害の多い一年となりました。

国政においては、与党の過半数割れによる不安定な石破政権から、十一月四日に高市早苗氏が「女性初の首相」に選出され、高市政権が発足しましたが、自民党単独では過半数を持たないため、維新との連立に依存するなど、政権の不安定さが引き続き大きな課題となりました。また、台湾有事における高市首相の国会答弁を受けて、日中両国の緊張関係が高まり、中小企業の輸出入や部品調達に不安定要素が高まっております。

社会・経済情勢では、トランプ政権の「関税政策」が世界経済に大きな影響を与え、国内では、コメ価格高騰問題が社会的関心を高めるとともに、エネルギー価格や食料品等の価格上昇が続く、仕入れコストが中小企業の収益を圧迫する中、価格転嫁が難しい業種では利益率が低下しました。また、少子高齢化に伴い、特に地方における中小企業の人材確保は依然として深刻な状況が継続しております。

このような中、組合においては、喫緊の課題である組合員企業の人材確保対策として、これまで実施してきた就職ガイダンスは継続開催する一方、新卒者の採用に繋がる学生のニーズに対応した企業連携型の新たなインターンシップにも取り組まれました。

また「組合会館「ラポール盛岡」のリノベーション事業については、エレベーターやバリアフリー等の新たな機能を備えることで、組合活動の拠点施設としての役割を一層高めるとともに、地域に開かれた交流施設として、住民が安心・安全に利用できる環境の確保にも取り組んで参ります。整備に当たっては、国の高度化資金を予定しており、昨年末までの国(中小企業基盤整備機構)や岩手県との協議・診断等も概ね最終段階にあることから、計画通り令和八年度早期の工事着手に向け取り組んで参ります。

組合は、設立から五十五年が経過し、様々な情勢の変化とともに新たな課題にも直面しております。組合員の一体性の維持については、全国的にも共通の課題になりつつありますが、当組合としては、各種の共同事業や支援事業の強化など、組合活動の活性化に取り組みとともに、地域社会とも連携しながら更なる組合の発展を目指して参ります。

結びに、本年も組合員並びに賛助会員はじめ関係各位のご支援をお願い申し上げます。

栞寿広 吉田雪乃選手 二〇二六 冬季オリンピック 出場確実



当組合第五部会所属で栞寿広スピードスケートの吉田雪乃選手が十二月十四日に開催されたワールドカップ第四戦五〇〇メートルで優勝し、二〇二六ミラノ・コルティナ冬季オリンピックへの出場を確実にした。

栞寿広藤原副社長は「盛岡卸センター組合員の皆様、あけましておめでとうござります。昨年十月に長野市エムウェーブにて開催の全日本スピードスケート距離別選手権の女子五〇〇メートルで当社所属の吉田雪乃が三七・五〇秒で優勝、あの高木美帆選手と同走し見事に勝利という快挙でした。二年連続ワールドカップ日本代表となり、十一月ノルウェー・カナダ十二月オランダ・ノルウェーと転戦し、女子五〇〇メートルで三位が二回、優勝一回と大活躍、今年二月開催のミラノ・コルティナ冬季五輪出場の内定も取得いたしました。熊にインフルエンザ、オーバートレーニング・対中間題・山火事等多発など不安な話題の事欠かかなかった年の瀬の、しかもこんな身近に新オリンピック誕生のニュースが

飛び込んでくるとは夢にも考えておりません。しかし、ここまでの結果に繋げた彼女の心中を推察しますと込み上げて来る物があります。約二か月に及ぶ海外遠征、無事帰国も羽田から長野市へ直行というスケジュールを笑顔で対応している姿に感動と身の震えを感じているところです。新聞記事にもありました「大好きな岩手、盛岡」を拠点に世界一を目指す環境を整えてもらった。「自分のためにみんなが懸命に動いてくれた。支えてくれた方に笑ってもらうために、戦う決意をした」という彼女のコメントを拝見したときは、涙が止まらませんでした。こんな素晴らしいトップアスリートが身近にいることを誇りに思い、その勇気と元気を社内外に発信し、そして喜びと感動を皆さまで共有できるように感謝して行きたいと思います。今後とも多大なるご理解とご声援をよろしくお願い申し上げます。」と活躍を期待する。



飛び込んでくるとは夢にも考えておりません。しかし、ここまでの結果に繋げた彼女の心中を推察しますと込み上げて来る物があります。約二か月に及ぶ海外遠征、無事帰国も羽田から長野市へ直行というスケジュールを笑顔で対応している姿に感動と身の震えを感じているところです。新聞記事にもありました「大好きな岩手、盛岡」を拠点に世界一を目指す環境を整えてもらった。「自分のためにみんなが懸命に動いてくれた。支えてくれた方に笑ってもらうために、戦う決意をした」という彼女のコメントを拝見したときは、涙が止まらませんでした。こんな素晴らしいトップアスリートが身近にいることを誇りに思い、その勇気と元気を社内外に発信し、そして喜びと感動を皆さまで共有できるように感謝して行きたいと思います。今後とも多大なるご理解とご声援をよろしくお願い申し上げます。」と活躍を期待する。

理事会結果報告

第八回理事会(十一月十九日開催)

一、報告事項

(一) 組合収支状況報告(令和七年九月末中間決算)

九月末現在の当期純利益は前年比で約三百八十万円減の一千三百七十五万円となり、純資産は約八億七千万円となった。今年度から実施しているインタシンシップなどの費用の増加が減益となった要因であるが、人材確保・育成事業にかかる費用については年度末に厚生労働省から助成金が交付される見込みである。

(二) インフルエンザワクチン集団予防接種結果報告

(三) 各委員会委員長・副委員長の互選結果

各委員会において、委員長・副委員長が別表の通り互選されたことを報告した。

◎印=委員長、○印=副委員長

1. 総務・税制委員会	
◎ 栞木津屋本店	◎ 取締役 佐藤 守厚
○ 栞岩	○ 部長 菊田 修一
2. 企画委員会	
◎ マルエス工業(栞)	◎ 社長 栄田 利成
○ トヨタL&F岩手(栞)	○ 社長 高橋 一仁
3. 共同事業委員会	
◎ 栞アウトレジャー	◎ 社長 小塚 久司
○ オヤマダエンジニアリング(栞)	○ 専務 神久保 征典
4. 労務厚生委員会	
◎ 栞藤村商会	◎ 社長 藤村 茂生
○ 岩手繊維(栞)	○ 部長 庄司 俊浩
5. 環境整備委員会	
◎ 栞モリレイ	◎ 常務 似里 徳彦
○ 岩手繊維(栞)	○ 部長 金田 佳己

(四) 賛助会員の栞みちのくジェネリックスが施設貸借終了を報告した。十一月三十日付で脱会することを報告した。

(五) 組合員企業景況調査(七、九月份結果報告)

調査対象である組合員企業百五十

五社に対し回答は五十三社であり、回答率は三十四・二%にとどまった。初回というところもあるが、今後内容を直しながら回答率を上げていきたい。

景気動向の指標はDI指数を採用しているが、今後更に見やすくするよう検討し調整していくこととする。なお、調査結果については研究して、一番見やすいように調整した上で、回答組合員だけでなく全組合員企業へ結果を報告する。

(六) 次回理事会・忘年会の開催日時・場所について

(七) 年間スケジュールの変更について

二、提出議案

第一号 令和八年新春セミナー並びに新年交歓会開催の承認について

令和八年一月二十一日にメトロポリタン盛岡ニューウイングにおいて開催することが承認された。講師は岩手県知事の達増拓也氏を予定している。

第九回理事会(十二月十七日開催)

一、報告事項

(一) 令和八年新春セミナー並びに新年交歓会について

新春セミナー並びに新年交歓会について、新春セミナーのテーマは「世界のいまと岩手県のこれから」(仮題)となり開催案内を発送したことを報告した。

(二) インタシンシップ報告会について

今年度、組合では人材確保・育成の観点から、厚生労働省「働き方改革推進支援助成金」を活用し、組合員五社を対象にインタシンシップを実施した。その成果報告会を一月十五日(木)に盛岡地区勤労者共同福祉センターにおいて開催することを報告した。報告会では、参加学生による成果発表のほか、参加企業からのコメントや講演などを予定している。

(三) 年間スケジュールについて

令和八年度の理事会および令和九年度通常総会までの主だった行事のスケジュール案を報告した。

「インフルエンザ 集団予防接種」を実施

十月三十一日(金)に福祉センター大ホールにおいて、市内医療機関の協力により組合員並びに賛助会員の従業員を対象としインフルエンザ集団予防接種を実施した。

当日は五十九社五百五名の接種で昨年より八十九名増えた状況ではあったが、接種者のご協力によりスムーズに運営することができた。

平日に短時間で接種ができることと後日の一括精算処理ができるため接種者からも継続実施希望の意見をいただいております。次年度も同時期に開催する予定である。



「第八部会視察研修会」を開催

令和七年十一月六日(木)部会員十二名が参加し、大槌町から宮古市を巡る視察研修を実施した。

「害獣」を「まちの財産へ」 MOMIJI(獺)の誕生

組合会館を午前八時に出発後、はじめに大槌町にある岩手県初のジビエ食肉加工施設「MOMIJI(獺)」を視察した。近年、野生動物による農作物被害は増

加の一端をたどっている。令和七年においては全国各地でクマによる人身被害が多発し連日のようにニュースを賑わせていたが、実は農業被害をはじめ、林業被害や車・列車との事故など、あらゆる野生動物に関する被害の中で最も多いのはシカによるものだ。金額で見ても全国での野生動物による被害額は令和五年度で百六十四億円であったが、このうちシカによる被害の割合はなんと七割にも上るのだという。

更に、懸命に育てた農作物が食い荒らされることなどによる営農意欲の減退や、耕作放棄、離農の増加、森林の土壌流出、希少植物の被害等、これらの事象は被害額として表れる以上に深刻な影響を及ぼしているのだそう。

こうした問題を根本的に解決していくためには、人の手による管理が必要となる。この管理のために駆除された野生動物は一般的に「害獣」と呼ばれ、そのほとんどが焼却処分されており、食肉として活用されている頭数は全体の十％程度に留まっている。

現在MOMIJI(獺)の代表を務めている兼澤氏自身も、ハンターとして活動する中で、命を奪うだけ奪って焼却するしかないという現状に疑問を抱えていたそう。そんなある日、町の人との会話の中で「私の旦那が捕ってきたシカも、自分たちで食べられる量はごく僅かだし、残ったものを捨ててしまうのはあまりにもったいない。奪った命をせめて有効活用できないだろうか」という言葉がきっかけとなり、一念発起。勉強会を開くなど二年半にも及ぶ地道な土台作りを経て、



シカを「害獣」ではなく「まちの財産」へと変えていくことを目的とする、岩手県初のジビエ食肉加工施設「MOMIJI(獺)」を二〇一九年十二月に立ち上げた。更に、二〇二〇年五月には大槌町や民間企業、町民、地元猟友会などが一丸となった「大槌ジビエソーシャルプロジェクト」を始動させた。

大槌ジビエサイクルの構築

大槌ジビエソーシャルプロジェクトでは、捕獲・製造・流通・消費・体験・育成の六つの活動を循環させる考え方を「大槌ジビエサイクル」と名付け、持続可能なジビエ事業を構築している。

(一)捕獲

大槌町にいたる百名ほどのハンターのうち、大槌ジビエソーシャルプロジェクトに賛同しMOMIJI(獺)と契約しているハンターが六十名程いる。ハンターは仕留めたシカを氷に漬けてなるべく傷まないよう処理を施したあと、その場で素早く血抜きし、一時間以内にもMOMIJI(獺)に搬入する。またオスは三歳以下、メスは四歳以下に限定して個体選別を行う他、適切な温度管理や各種検査など、独自の規格を設けその基準をクリアしたものが「MOMIJI(獺)プレミアム」という食肉としてお客様に届けられる。この規格から外れたものは、レギュラー品として多様な加工品に活用されるのだそう。

(二)製造

搬入されたシカは、五名いる解体専門の職員により内蔵処理が行われる。食肉処理の過程で出る骨や角・革も無駄にせず、加工品として利用している。

(三)流通

製造した商品は、卸売りを行う他、店舗やECサイトでも販売を行っている。食肉の卸先として最も遠いところでは福岡まで送ることもあるという。価格格的な点で言えばMOMIJI(獺)で取り扱われる豚肉、牛肉などに比べると正直値が張る印象だ。しかしそれはクマに遭遇する危険性もある山でハンター達が命がけ

で狩猟を行い、その後の丁寧な処理と徹底した衛生管理・品質管理など、そのすべての過程における付加価値を反映した価格であることだった。そうして販売されるMOMIJI(獺)プレミアムは品質の良さから高い評価を受け「やっぱりMOMIJI(獺)さんのお肉がいい」とリピーターになるファンも多いのだという。

(四)消費

ジビエの認知や消費拡大を目的に、県内外の大小様々なイベントにキッチンカーで出向き出店している。昨年開催された大阪・関西万博にも出店されたそう。多くの人の目につきやすく、気軽に「食べてみようかな」と思ってもらえるキッチンカーでの展開は、シカ肉を初めて食べるきっかけ作りの場としても大切に行っていることだった。

また、シカ肉を加工した犬用のペットフードはアマゾンなどでも販売しており、こちらは欠品が出る程の人気なのだそう。

(五)体験

狩猟同行やシカの解体体験など、現場で直接ジビエの魅力に触れることができるコンテンツとして、教育旅行や食育体験をはじめとしたジビエツーリズムを開催している。その中には親子で参加できるものもあり、過去に開催したイベントでは参加者が百名を超えるものもあったそう。

(六)育成

県内外でジビエ事業を立ち上げる地域や団体向けに、視察や講演会を実施している。また、動物をジビエとして活用するための捕獲方法や解体方法を伝える世代を担うハンターを育てるための取り組みを行っている。ジビエソーシャルプロジェクトに興味・関心を持った若い世代がこういった育成事業に携わり、そのまま大槌に移住するというケースもあるそう。

以上のように、MOMIJI(獺)では山の恵みに感謝しその命に敬意を表すとともに、独自のジビエサイクルを構築して地元大槌町の地域活性化に貢献できるように活動されていることを学んだ。講

意識していただき。また、清掃状況の良かった企業から委員会の改善依頼を実施していた企業について、(株)寿広、鈴木農機、(株)ブルケン、東日本、SBS三愛ロジステイクス(株)、泉金物産(株)、昭和木材(株)、東北住建(株)、アムハード小西(株)、コマツ岩手(株)、(株)藤村商会、イシダプロ(株)とたくさんのお名前が上がりホームページへ写真とともに掲載予定である。



「第四部会秋季懇親会」を開催

十一月二十一日(金)料亭喜の字において来賓三名を含めた二十名の参加により第四部会秋季懇親会を開催した。島山部会長の挨拶と東北銀行千葉支店長の来賓挨拶に続き、乙道副部会長の乾杯により宴に入った。限られた時間の中であったが、それぞれ一年を振り返り、業界の情報や近況などが語られ、交流が図られた。最後は藤村副部会長の中心によりお締めとなった。



「管理職研修会」を開催

十一月二十六日(水)ラポール盛岡研修室において、組合主催による令和七年年度管理職研修会を十一社二十六名の参加で開催した。昨年に続いての研修となり「マネジメントについて」や「リーダーに期待される役割」、「ハラスメントの実態」等について講義やグループワークを通じて学び、部下への指導の仕方や職場内で増加傾向にあるハラスメントについての理解を深めた。



組合では今後も継続し、より良い職場環境での仕事に繋がるような様々な研修を提案し実施していく。

「経営研究会十二月例会」を開催

十二月十二日(金)午後五時三十分からアートホテル盛岡において経営研究会十二月例会を二十三名の参加により開催した。

今回は(株)IBC岩手放送アナウンサーの浅見智氏を講師に迎え、「スポーツI(アイ)〜岩手へスポーツを元気に〜」と題してスポーツ実況の裏



「インターンシップ」を実施

側や、プロセスと企業の関わり方について講演をいただいた。特に興味深かったのは企業がスポーツを応援する方法が協賛以外にも選手の就職や合宿誘致といった方法があり、岩手に根付いたチームや選手への応援をすることができるとのことであった。



組合では雇用支援事業の一環として、厚生労働省「働き方改革推進支援助成金」を活用し、組合員企業五社を対象にインターンシップを実施した。参加した学生は二十名(大学生九名、短大生五名、専門学校生六名)で、各社

において概ね五日間のインターンシップを行った。実習内容は、新商品開発、職場環境の改善、販路拡大の検討など、企業担当者との協働しながら取り組む実践的で深いものとなり、企業・学生双方にとって非常に有意義な機会となった。なお、令和八年一月十五日には成果報告会を開催し、組合員企業および関係団体に対して本事業の成果を報告する予定としている。

「各部会忘年会」を開催

忘年会を十一月二十六日に第二部会、十二月五日に第三部会、十五日に第五部会、十九日に第六部会がそれぞれ開催した。部会ごとに一年の締めくくりとして懇親を深めた。(写真は第二部会、第三部会の様子)



流通センター内 雪捨場のご案内

〈指定雪捨場所〉

1. 広宮沢公園野球場隣駐車場
(東側半面のみ)
2. 鹿妻公園ソフトボール場隣
駐車場

雪捨場所に関するお問い合わせは、
協同組合盛岡卸センター
TEL: 019-638-1111

行事予定

27日(金)	26日(木)	24日(火)	20日(金)	13日(金)	12日(木)	3日(火)	〃	22日(木)	21日(水)	〃	19日(月)	15日(木)	〃	13日(火)	〃	7日(木)	5日(木)
税務セミナー 知事との意見交換会(市内) 協仙台卸センター 設立60周年式典・祝賀会 (仙台市)	第4部会 新春交流会(市内) 第10回 理事会 就職ガイダンス(福祉センター) 東北卸商業団地連絡協議会 職員研修会(仙台市) 経営研究会 2月例会(市内)	矢巾町新春の集い(矢巾町) (二社岩手経済同友会 新年祝賀交歓会(市内) 第1部会(靴部会) 例会 新春中央会 組合トップセミナー(市内) 経営研究会 役員会 インターンシップ報告会 第1部会(繊維部会) 例会 総務・税制委員会 組合新春セミナー並びに 新年交歓会(市内) 全国卸商業団地協連会 新年賀詞交歓会(東京都) 全国卸商業団地企業年金基金 理事会(東京都)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

ラポール盛岡 1Fロビー催事予定

	催事内容	開催日
1月	乾物・珍味販売	8、15、22、29
	婦人服販売	26~30
	くつ・かばん販売	5~7、9
	スイーツ販売	6、13、20、27
2月	乾物・珍味販売	5、12、19、26
	婦人服販売	24~27
	雑貨販売	4

組合異動状況

- ・ ***社名変更***
・ SBSネクサード(株)(第5部会)
(旧社名 SBSリコーロジスティクス(株))
- ・ ***社名・代表者変更***
・ Bitcoin Japan(株)(第1部会)
代表者 代表取締役 フィリップ・ロード
(旧社名・代表 堀田丸正(株)・上杉 隼士)
- ・ ***住所変更***
・ フジテクノシステム(株)(賛助会員)
本社 宮城県仙台市太白区富沢西
4-20-6
- ・ ***賛助会員加入***
・ 杉田エース(株)盛岡営業所
事業内容 建築金物卸売
代表者 代表取締役 杉田 裕介
所在地 盛岡市流通センター北
1-2-7
- ・ ***賛助会員脱会***
・ (株)みちのくジェネリック

組合共同給油所 「MOCCS SS」

共同給油所「MOCCS (モックス)」は、組合所有施設であり元売りであるENEOS(株)の特約店として販売業務を流通商事(株)へ委託しています。

給油および点検・整備等、共同給油所「MOCCS」を是非ご利用ください。

ご利用する上での要望、相談等がございましたら、組合事務局又は流通商事(株)担当までご連絡をお願い致します。



組合共同事業 共同給油所 MOCCS SS 流通商事(株)

住所: 矢巾町流通センター南3丁目10-1
※広宮沢公園のすぐそばです

Tel: 019-637-2478
営業時間: 7:00-21:00 祝日 7:00-20:00
定休日: 日曜日・1月1日、2日

MOCCS LINEアカウント

ガソリン価格情報や、タイヤ・オイル交換・洗車サービスなどお得情報を配信しております。
左記のQRコードを読み取るだけで簡単に登録できます！

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

お問合せ: MOCCS SS 流通商事(株) 019-637-2478 (協)盛岡卸センター 業務課 019-638-1111